

一般社団法人障がい者アート協会

第4期 年間活動報告

(2018年12月～2019年11月)

目次

I. 総括	P2
II. 個別テーマのレビュー	P3
・ 支援活動	
・ 周知活動	
・ 収益事業	
・ スポンサー企業さま、他収入	
・ 損益、財務	
III. 5期方針	P8
IV. 参考資料 1	P9
・ 主要数値	
・ 作品使用実績（一例）	
・ ご支援企業一覧：協賛企業様、作品二次利用企業様	

I. 総括

2018年度は収入が11,525千円（対前期177%）に対して支出が10,336千円（対前期184%）となり、総体として1,188千円の黒字で一年間を終えることができました。大幅な収入増は、3期とほぼ同じ件数のペースで収益事業に対応しながら、プラス大口の寄付金及びスポンサー企業様からの収入を得ることができた結果によるものです。

また、この収入増にあわせて債務超過の状態は解消され、まずは最大の課題であった「継続に向けた財務面での安定」状態に一步近づくことができました。

障がい者支援の面についても、周知活動の中心となるオンラインギャラリー【アートの輪】は昨年来の加速度的な成長を維持しており、2019年11月末時点で登録アーティスト数440名、公開作品数は7100点となっており、「一人でも多くの障がい者アーティストを、一点でも多くの作品を、一人でも多くの人に知ってもらい、見てもらう」という根本的な方針は維持され、順調に支援の規模を拡大させています。

また今年度はこのような当協会の活動をSDGsの視点から整理し直し、企業経営者の方々やCSRご担当者にわかりやすい形で説明・発信し、取り組みへご理解いただく活動にも注力しました。結果的にテレビ・ラジオの取材依頼や企業からのお問い合わせ増加など、当協会の活動がSDGsという枠組みの中でも社会に求められている取り組みと再認識することができました。

従来からの課題であった低収益性や長時間労働、作業の合理化或いは今期の方針であった他社との連携といったいくつかのテーマについてもそれぞれ対応を図り、完結はしていないものの一定の成果を得ることができました。

このように第4期につきましては、事業活動そのものは順調に進捗し、継続的な活動の手応を感じた一年ではあった一方、急激な成長からくる歪みとも言える障がい者支援のレベルダウンや、成長に向けた経営資源の限界等も実感しています。

そのような意味で、当協会にとって第4期はさらなる成長、次のステージに向けて、新たな視点で課題解決や目標設定の必要性を認識できた区切りの年だったと言えます。

Ⅱ. 個別テーマのレビュー

【支援活動】

活動のメインとなる【アートの輪】によるアート作品公開については、昨年比で2倍以上の規模に成長しています。作品データ受領から公開までの合理化進展により、そのリードタイムは大幅に短縮され、公開作品数の増加スピードが早まりました。現在、一日あたり約15作品をほぼ毎日公開しています。

この登録者数の大幅増加という状況から見ても、「作品の発信場所がない」「方法がわからない」等、発信に関してハンディキャップをもった障がいのある人がいかに多いかという事実を再認識することのできる一年でした。

※公開作品数と登録者数



一方本年は、財務面の改善と活動の長期継続を目的に、収入のうち経済支援に充当する比率（著作権利用料については個別に締結している契約内容の下限まで低減、創作応援活動費については分配率の低減）の変更を図りました。結果的に著作権利用料と創作活動応援費の対象者数は昨年比で大幅増と、収入増を反映した形で支援の裾野を広げることを実現できましたが、一人あたりの支援額は縮小しました。これにつきましては財務状況を見ながら適宜変更してまいります。

尚、昨年同様、経済支援については対象者個別に源泉徴収所得税を差し引いた（翌月に協会が納付）金額を各自に振り込んでいます。

※経済支援金額（著作権利用料、創作活動応援費）

(単位：千円)

		2期		3期		4期	
		金額	対象者数	金額	対象者数	金額	対象者数
著作権利用料	金額	276,035	48	807,980	81	966,207	195
	対象者数						
創作活動応援費	金額	216,185	117	452,270	270	381,872	358
	対象者数						
金額計		492,220		1,260,250		1,348,079	

【周知活動】

昨年同様 SNS などのインターネットを使った周知活動を積極的に行いながら、これまで対応が難しかった実際の展示などにもチャレンジ致しました。

その一つが、11月に京都長楽寺で行われた「可能性アートプロジェクト展 in 長楽寺 2019」への出展です。こちらは凸版印刷株式会社様が 2018 年より取り組まれている障がいのある方々のアート展覧会であり、



本年、当協会にも参加のお声がけをいただき、【アートの輪】から京都在住登録者 5 名の作品を出展させていただきました。多数の地元メディアの取材、外国人観光客も含め、日頃障がい者支援とは距離のあると思われる多くの方にご覧いただくことができたこと等、周知という点で大変有意義でした。尚、2020 年度についても同様のお声がけをいただき、作品募集の段階から連携して取り組み、昨年よりも多くの作品を展示する方向で現在準備を進めています。

また、BS フジが放送を開始した番組『知りたい！SDGs！』第 3 回で当協会の活動をご紹介頂きました。活動内容紹介、代表理事と登録者のインタビューから構成され、その活動が SDGs の目標「8 働きがいも経済成長も」に該当するという内容でした。直接頂いた番組の感想や企業様の反応等から推測するに、我々の取り組みが、SDGs としての取り組みという意味での周知も広がったと考えています。

周知活動を数値面で見た場合、企業オリジナルアイテム等の二次利用によって最低でも 16,000 人強（右表）、更に現在ご支援いただいています ネットスクウェア(株)様、(株)プリントパック様が展開された年賀状企画に本年も参加させていただきました。その他

※作品二次利用実績

お取り組み企業	アイテム	数量
国内靴メーカー様（年間計）	展示会招待状	8,300
ヤマデン様	カレンダー	1,400
千代田オフセット印刷様	年賀状	130
キャリアフィット様	年賀状	1,470
海神貿易様	年賀状	214
入間市商工会様	ポスター	600
美容室 Bis様	お客様向けDM	400
塩野義製薬様	研修会フライヤー	4,000
計		16,514

様々な二次利用の展開と合わせて、広く社会全般に対する周知活動を昨年の 3 倍の規模（昨年 5,500）で実現することができました。

【収益事業】

昨年同様多様な領域での作品利用を積極的に提案し、件数にして約50件程度の作品二次利用による収益事業を行いました。

新しい二次利用方法とすると、各地の工務店様が手がけられる戸建住宅現場における垂れ幕があげられます。この取り組みは、全国の工務店ネットワークを持つ、(社)コミュニティビルダー協会様との連携によるもので、期首に掲げた他団体との連携によって実現したものです。



第1号の青森県(右写真)でのスタートに続き、東京都町田市、ついで長野県と、コミュニティビルダー協会様が持つ全国ネットワークをフルに使ってご協力頂いています。この取り組みにつきましては、これまでの建設現場仮囲いで展開している「まちかど障がい者アートギャラリー」とあわせて当協会の象徴的な取り組みとして今後も注力してまいります。

他社連携の面では、先に記載しましたが、ネットスクウェア(株)様、(株)プリントパック様の展開される年賀状販売サイトに、昨年続き、且つ昨年より多くの作品を提供させて頂きました。国内大手の会社様とのお取り組みは、収益面でも登録者のやりがいという意味でも当協会にとりまして大きな実績となっています。

その他、昨年よりスタートさせていただきましたオリジナル雑貨ブランド「Genseki」への作品提供、企業オリジナルカレンダー、イベントチラシ、仮囲いアート等といった従来からのアートの展開先含め、作品二次利用による収益事業の件数は堅調に推移しました。ただし、単価は下落していることから、来期の課題として認識し、対応を検討してまいります。

尚、この二次利用の際に発生する売上からデザイン費等の原価を除いた収益の35%の金額が障がい者支援に充当されています。

●第4期収入内訳




(単位：千円)

	3期				4期			
	収入	件数	構成比	単価	収入	件数	構成比	単価
作品二次利用	3,379	43	52%	79	2,873	46	51%	62
スポンサー	2,261	12	14%	188	4,542	15	17%	303
寄付	877	24	29%	37	3,634	27	30%	135
その他	124	4	5%	31	500	2	2%	250
	6,641	83		80	11,549	90		128

【スポンサー企業さま、他収入】

今期は前期から継続いただいた10社（資料ページ記載）に3社（右表）新たにご賛同いただき、計13社さまより直接の

●新規スポンサー企業様

	株式会社 エコリング	兵庫県姫路市
	株式会社 日申	東京都府中市
	株式会社 エータイ	東京都千代田区

ご支援を頂戴し、資金的に一年間活動に安心して取り組むことができました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。ご賛同いただきました会社様につきましては、その社名を資料編のページに記載させていただいております。

また、前期に引き続き、シャディ(株)様のギフトカタログを通じた個人、さらに協会に直接お申し出いただきました個人、財団様等より多額のご寄付をお受けいたし



ました。因みにシャディ(株)様経由のご寄付は昨年同様平均一日一件でお受け致しております。またこれまでお受けできるアイテムが限定されていたリサイクル寄付につきましては、外部リサイクル事業者と連携することで幅広い対応が可能となっています。

加えて今期は、ズームエナジージャパン様と毎月の電力使用料金お支払い分の一部が、ズームエナジージャパンを通じて毎月当協会へ寄付されるという新しい仕組みの取り組みを行なって頂くこととなりました。

多様なご寄付のあり方を整備した結果、その規模は年々大きくなり、協会全体の収入の中でも今期は特に大きな構成比となっています。

さらに、当協会としては始めてとなりますが、民間財団（公益社団法人日本理学療法士協会）が主催する助成金事業に認定され、これまで着手できなかった事業紹介小冊子やノベルティサンプルといった宣伝ツールを制作することができました。



これら一連の事実は、当協会の活動が社会的に意義あるものと認知され、そして今後の成果に強く期待されていることの表れと考えられることから、この期待にしっかりと応えられるよう今後も取り組んでまいります。

【損益、財務】

損益的には売上 11,525 千円に対して、営業利益 1,188 千円(売上比 10%)。大幅な売上増に
対して営業利益は微増という結果になりました。

● 損益概要

(単位：千円)

	3期		4期		3期比
	売上比		売上比		
売上	6,641		11,525		174%
粗利益額	3,003	45%	8,622	75%	287%
経費	2,017	30%	7,433	64%	369%
営業利益	986	15%	1,188	10%	120%

従業員 2 名の
人件費に充当される業務委託費^{※後述}、本店(事務所移転)に伴う諸費用、そして定款一部変更等による対土業への手数料、今期より開始しました収益事業の連携先に対する販売手数料等、売上増に比べそれ以上の比率で全体の経費も増加しましたが、営業利益は最低限の水準を維持できたと考えます。

ただし、現在の従業員及び成長に必要な人件費を賄うだけの十分な収益を未だ生み出せてい

● 増加した主な管理費

(単位：千円)

	3期	4期	増加額	
	構成比			
業務委託料	897	3,172	2,275	42%
支払手数料関連	251	1,930	1,679	31%
本店移転関連	229	704	475	9%
その他	641	1,628	987	18%
管理費計	2,017	7,433	5,416	100%

一方で財務的には先に記載したとおり、債務超過の状態を脱し、健全な運営に一步近づきました。流動資産の状況からして、持続的成長を実現しうる財務の状態に近づきつつあると考えます。

※補足：業務委託費

- ・ 当協会前身組織であるアトリティ株式会社に対して支払いを計上しておりました本業務委託費は当期(4期)にて委託契約を解除。
- ・ 今期の本費用算出方法は粗利益額から経済支援額を除いた最終的な協会収入の80%。当協会在籍2名の人件費に充当していました。
- ・ 当該法人はこの業務受託事業以外、主には当協会が行う「リサイクル寄付」に伴うリユース事業を行っていました。

Ⅲ. 5期方針

現在の登録者及び作品数増加のペースから予測すると、来期は登録者 500 名、作品数は 15,000 点という規模まで成長すると見込まれます。

これに備え、組織・事業・業務のあり方、運営方法、提供サービス等、大きく見直さなければならぬ重要な期と位置づけています。

活動の継続と支援内容の持続的成長を念頭に、以下の点を重点ポイントして一年間取り組んでまいります。

【支援内容のレベルアップ】

経済的支援については四半期収支の状況を見ながら、経済支援に充当される収入に対する割合を、今期の 35%（著作権利用料 30%、創作活動応援費 5%）を 40% まで引き上げることを目標とします。

精神的支援については、登録者が「やりがい」や「満足感」を得るといった自立につながるような作品の発信方法とフィードバックの仕組みを検討します。

【収益事業の再構築】

今期までの実績によって蓄積された多方面に渡る作品提供・募集事業のノウハウをベースに、新しい事業の柱を育ててまいります。

また、周知の広がりと並行して年々大きな額となりつつある寄付につきましても、引き続き、寄付を希望される方々の多様なニーズに対応できるよう、受け入れの体制を整えてまいります。

【組織・運営体制の見直し】

今期は営業面を中心に外部企業との連携に注力してまいりましたが、5期につきましては、さらに内部の管理業務、マーケティング業務についても外部企業あるいは個人との連携を密にしてまいります。これにより各個別業務と組織運営の精度を上げ、信頼してより多くの案件を依頼される団体になるよう努めます。

【広告の有効活用】

現在グーグル社より提供されている非営利団体支援プログラム（無料広告枠）の活用方法を見直します。具体的には、現在もお問い合わせが多く社会の関心も高い「SDGs」をキーワードに広告を積極的に活用してまいります。

IV. 参考資料_1

●主要数値（速報値）

貸借対照表

(2018年12月～2019年11月)

(単位：円)

	3期	構成比	4期	構成比	増減額	増減率
流動資産合計	411,166	9%	1,853,279	98%	1,442,113	451%
固定資産合計	49,950	12%	44,400	2%	▲ 5,550	89%
資産の部合計	461,116	100%	1,897,679	100%	1,436,563	412%
流動負債合計	563,256	185%	1,145,992	-	582,736	203%
固定負債合計	0	0%	0	0%	0	-
負債の部合計	563,256	185%	1,145,992	-	582,736	203%
純資産の部合計	▲ 102,140	-	751,687	-	853,827	-
負債・純資産の部合計	461,116	100%	1,897,679	100%	1,436,563	412%

損益計算書

(2017年12月～2018年11月)

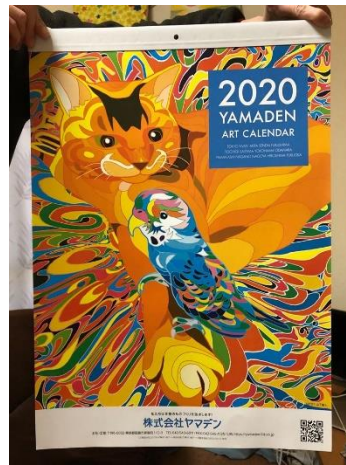
(単位：千円)

	3期	売上比	4期	売上比	増減額	増減率
売上高合計	6,641	100%	11,525	100%	4,884	174%
売上原価	3,638	55%	2,903	25%	▲ 735	80%
売上総利益	3,003	45%	8,622	75%	5,619	287%
販売費及び一般管理費合計	2,017	30%	7,433	64%	5,416	369%
(内業務委託費)	(897)	14%	(3,172)	28%	2,275	354%
営業利益	986	15%	1,189	10%	203	121%
営業外収益合計	0	0%	0	0%	0	-
営業外費用合計	373	6%	0	0%	▲ 373	-
経常利益	613	-	1,189	10%	576	194%

参考資料_2

●作品使用実績（一部）

垂れ幕（株式会社佐々木商会様） カレンダー（株式会社ヤマデン様） ポスター（入間市商工会様）



ポスター（株式会社塩野義製薬様）

月刊誌表紙（きらめきプラス様）

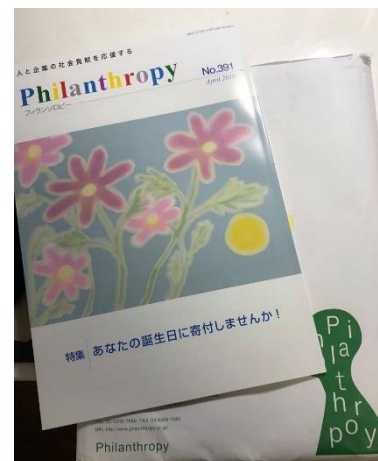
お客様DM（美容室 Bis 様）



お客様粗品（株式会社丸広百貨店様）

眼鏡ケース（時代工房様）

機関誌表紙（フィランソピィー協会様）



参考資料_3

●ご支援企業一覧（順不同）

【協賛企業様】

株式会社 神奈川ナブコ	株式会社 日申
金鶴食品製菓 株式会社	ネットスクウェア 株式会社
コバオリ 株式会社	株式会社 プリントパック
株式会社 アイ・コーポレーション	ヒューフレディ・ジャパン合同会社
株式会社 海神貿易	松本機械工業 株式会社
有限会社 東方商事	株式会社 エコリング
株式会社 エータイ	他

【作品二次利用企業様】

株式会社 ヤマデン	日本セイフティー 株式会社
有限会社 時代工房	ネットスクウェア 株式会社
キャリアフィット 株式会社	株式会社 プリントパック
株式会社 リーガルコーポレーション	東京ガス 株式会社
株式会社 丸広百貨店	ディファンプランニング 合同会社
塩野義製薬 株式会社	ズームエナジージャパン 合同会社
株式会社 イーネ	馬淵建設 株式会社
公益社団法人 フィランソロピー協会	ビ場
入間市商工会	千代田オフセット 株式会社
Studio Bis	株式会社 オフィスDB
株式会社 佐々木商会	他
株式会社 ササキハウジングカンパニー	

2020年1月吉日

埼玉県飯能市八幡町 16-12
一般社団法人 障がい者アート協会
代表理事 熊本豊敏
理事 水谷陽平